



【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

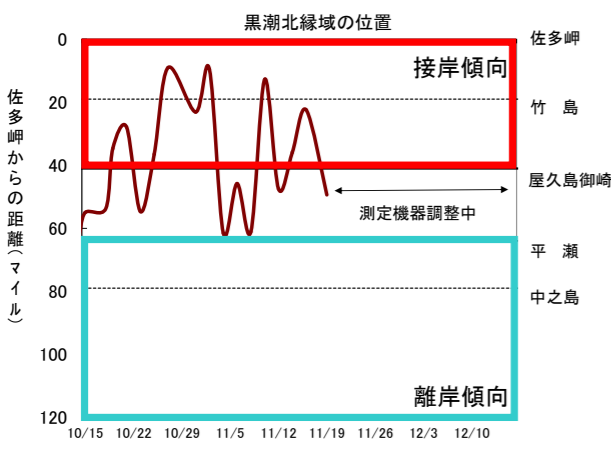
鹿児島～那覇定期客船観測は測定機器の調整中のため欠測。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、12月9日現在、35マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

鹿児島～那覇定期客船観測は測定機器の調整中のため欠測。甌海峡では、先週と比較して0.7℃降温し、平年比較では“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-
佐多岬	-	-	-	-
竹島	-	-	-	-
屋久島御崎(永田岬)	-	-	-	-
中之島	-	-	-	-
笠利崎	-	-	-	-
与路島	-	-	-	-
与論	-	-	-	-
甌海峡	19.1	-0.7	-0.4	平年並

鹿児島～那覇定期客船観測は測定機器の調整中
串木野～甌定期客船観測は12/14

【漁況】

○定置網

甌島海域では、カンパチ(1～2kg)が20kg/日、イサキ(500g)が10kg/日の入網。西薩南部海域では、マアジ(150g)が500kg/日、スマ(1.5kg)が80～130kg/日、マルアジ(200g)が100kg/日、マアジ(150g)が100kg/日、サワラ(1kg)が50kg/日、アカマス(100g)が50kg/日、チダイ(100g)が50kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、スマ(2.5～3kg)が240～540kg/日、ハガツオ(1.5kg)が190～410kg/日、カンパチ(0.7～1.3kg)が170～360kg/日、1日のみマアジ(100g)が350kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でハガツオ(1.5kg)が1.7t、ゴマサバ(400～500g)が1t、ウスバハギ(1.4～1.6kg)が350kg、オオニベ(5～12kg)が130尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で39統がカンパチ、チウオ、ブリ主体に1.7tの入網。志布志湾南部海域では、週計でチウオ、ニベ類、ブリ主体に18.7tの入網。

○ブリ飼付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3～6kgを15～50尾/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計で4.5kgを512尾の漁。大隅半島南部海域では、4～5kgを100～120尾/日の漁。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、3～8箱/隻・日の漁。

(旋網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期		
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	4	122	長崎 天草沖 野母崎沖	サハ類大38 サハ類中38 ソウダガツオ9	30.5	0	-	2	68
		中	15	116	串木野沖 長島	マアジ豆47 マルアジ豆14 マアジ小11	7.7	7	76	10	163
	枕崎	大	7	376	西沖 臥蛇島 屋久島南	ゴマサバ中小59 クサヤモロ小25 マアジ中4	53.7	7	135	2	131
		中	8	151	島間沖 種子島南 口之島	クサヤモロ中小49 ゴマサバ中小24 クサヤモロ小14	18.9	14	374	11	158
	内之浦	中	0	-			-	0	-	0	-
	山川	中	0	-			-	0	-	0	-
計	大	11	498			45.3	7	135	4	199	
	中	23	267			11.6	21	450	21	321	
東海旋網	阿久根		0	-		-	0	-	0	-	
	枕崎	1	195		ゴマサバ大54 マサバ大23 マアジ中小22	195.0	1	84	0	-	
棒受網	阿久根	22	48	阿久根沖 長島	ウルメイワシ89	2.2	15	37	20	36	
	内之浦	0	-			-	0	-	0	-	
定置網	内之浦	39	17		カンパチ32 チウオ9 ブリ8	0.4	35	12	40	13	
刺網	阿久根	44	3	甌 長島 牛深沖 川内沖	キビナゴ100	0.1	26	2	22	3	
カツオ竿釣	枕崎	大	0	-		-	0	-	0	-	
		小	0	-			-	0	-	0	
	海旋	中	1	1068		カツオ中50 カツオ小28 キハダ18	1,068.0	1	720	1	768
		大	0	-			-	0	-	0	-
海外旋網	山川	中	0	-			-	0	-	0	
		海旋	2	900		カツオ小78 キハダ17	450.0	1	686	2	1048

○トビウオロープ曳網

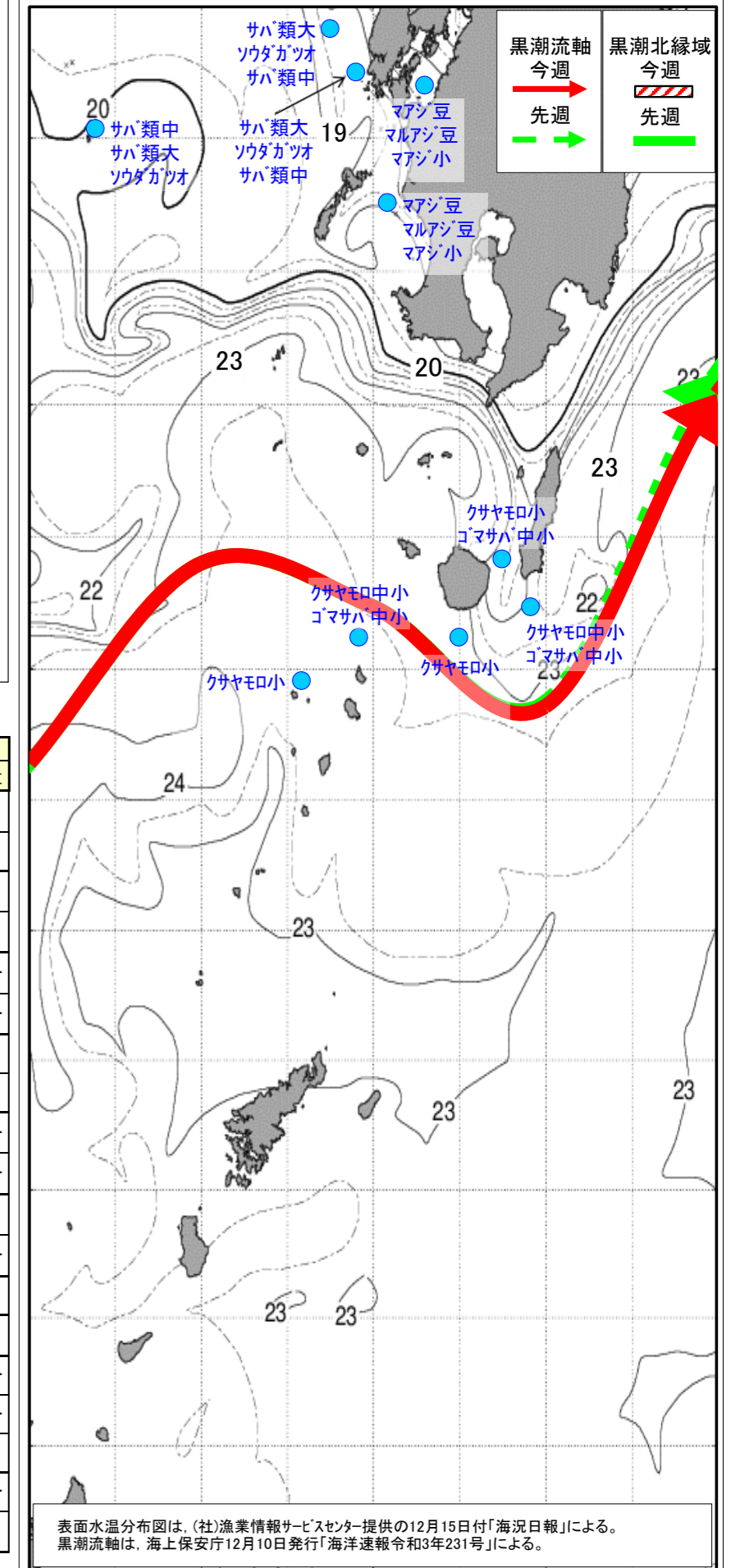
屋久島海域では、中トビを33～105箱/統・日、大トビを5～11箱/統・日の漁。

○パッチ網

西薩海域では、1日のみ生で625kg/統の漁があった。

○その他

甌島海域では、曳縄でスマ(1.5～3kg)を50kg/隻・日の漁。西薩海域では、ごち網でマダイ(0.2～2kg)を2～26kg/隻・日の漁。曳縄でサワラ(0.8～2kg)を7～12kg/隻・日の漁。延縄で1日のみアカアマダイ(300g)を17kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、小型底曳網でヒケナガエビを50～300kg/隻・日の漁。曳縄でスマ(1.5kg)を35～140kg/隻・日、カツオ(1.5kg)を10～40kg/隻・日、ハガツオ(1.5kg)を5～20kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、小型底曳網でカンゾウヒラメ(300～600g)を30kg/隻・日、マダイ(1～3kg)を20kg/隻・日の漁。屋久島海域では、カンパチ(6～13kg)を33kg/隻・日、マダイ(6～7kg)を23kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの3～4日操業でソデイカ(胴体のみ6～7kg)を52ハイ/隻の漁。延縄の2日操業でチカメソコキ(1kg)を32kg/隻、ムツ(1～1.5kg)を12kg/隻の漁。一本釣りでは1日のみハマダイ(3～7kg)を29kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の12月15日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁12月10日発行「海洋速報令和3年231号」による。